関西経理専門学校【通信】2024年度 講義要項

科目名	学年	担当講師名	開講期間
税　務　会　計　Ⅰ　・　Ⅱ	1 年	石　原　　淳　行	前期Ⅰ 後期Ⅱ

講義の目的および概要

国や地方公共団体の活動の為にはたくさんの資金が必要になり、その主要な財源が税金であるという認識をしなければならない。そのためには、単に税金を納めるというのではなく、税金の仕組みを十分に知る必要がある。その税金のうち所得税と法人税が大半を占めている。従って所得税と法人税の仕組みを理解し、具体的な計算ができるようになることが必要になる。

講義のテーマ

・税金の制度
・企業会計と税務会計
・所得税の概要
・所得税の内容と計算方法
・所得控除と税額の計算
・所得税の申告、納付の手続き
・法人税の概要
・法人税の益金と損金
・法人税額の計算
・同族会社
・申告と納税
・勘定奉行及び申告奉行作成

月	授業展開・ライセンス取得および指導要領	検定試験の種類	講義形式 学習形態	備考
4	・税金の意義及び制度 ・企業会計と税務会計の相違点		通信講座	
5	・所得税の意義と計算期間　・10種類の所得の内容と計算方法 ・法人税の概要		通信講座	
6	・10種類の所得の内容と計算方法 ・法人税の益金の額及び損金の額の計算		通信講座	
7	・所得税額の内容と計算方法　・法人税の所得計算 ・前期試験		通信講座	
8	夏期休暇			
9	・確定申告及び納付、還付手続　・修正申告と更生の請求 ・法人税額の計算		通信講座	
10	・全経税務会計検定試験模擬問題	税務会計検定試験 所得税及び法人税2・3級	通信講座	
11	・伝票作成　・勘定奉行入力の立ち上がり ・期中入力及び決算書の作成		通信講座	
12	・申告奉行入力の立ち上がり ・申告奉行入力		通信講座	
1	・法人税の別表の説明　・全経税務会計検定模擬問題 ・後期試験		通信講座	
2		税務会計検定試験1級 所得税及び法人税2・3級		
3				

評定方法

出席	％	単位修得試験	50 ％
レポート	50 ％	その他	0 ％

指定教科書	参考図書
・別途指定	

学習上の留意点	必要教材（使用予定機材）
通信講座を受講すること。理解できるまで何度も反復で受講すること。 レポート課題については期限内に提出すること。 単位修得試験に合格することにより単位を認定する。	

学生からの質問受付E-mailアドレス（可能な場合のみ）	備　考　欄
info@ast.ac.jp	